

日本 VAD コンソーシアム 第 2 回 研究集会

会 長：東口高志（藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座 教授）

開催日時：2016 年 11 月 19 日（土）10:00～15:00

会 場：東京国際フォーラム ホール D7

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号

テーマ：PICC 導入による静脈栄養の新たな展開

プログラム

10:00～10:10

開会の挨拶 宮坂勝之 聖路加国際大学大学院周麻酔期看護学 教授

10:10～10:30

基調講演 「PICC 導入による静脈栄養の新たな展開」

東口高志 藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座 教授

10:30～11:00

e-Poster session 座長：小谷穰治 兵庫医科大学救急・災害医学講座 主任教授

1. 当院における PICC 挿入の安全性、感染率の評価と課題

新居田敦子 医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院 感染管理認定看護師

2. 当院診療看護師における PICC 挿入の現状調査と評価

竹松百合子 藤田保健衛生大学 中央診療部 FNP 室

3. 当科における PICC の検討

矢口義久 帝京大学医学部外科学講座

4. 新しい静脈留置カテーテル Nexiva™ の操作性の検討

高橋マキ 東海大学医学部 外科学系麻酔科学

5. 当科におけるミッドラインカテーテルの有用性と問題点

高橋義和 大崎市民病院 腫瘍内科 NST

11:00～11:30

Oral session 座長：二村昭彦 藤田保健衛生大学七栗記念病院薬剤課

1. 当院における終末期がん患者への PICC 使用状況

前川ゆか 藤田保健衛生大学七栗記念病院 薬剤課

2. カテーテル関連血流感染症減少に与える PICC カテーテルの可能性-脳神経外科領域に関して-

中山晴雄 東邦大学医療センター 脳神経外科

3. 在宅医療における末梢点滴の実施状況とトラブルに関する報告

中山真美 医療法人 医純会 すぎうら医院 在宅診療部

11:30～12:10

教育講演1 座長：高増哲也 神奈川県立こども医療センターアレルギー科 医長
「エビデンスからみた VAD ガイドライン」

演者：伊藤龍子 順天堂大学医療看護学部小児看護学 教授

12:10～13:10

ランチョンセミナー 座長：東口高志 藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座 教授
「側注（混注）デバイスに関すること」

演者：藤田直久 京都府立医科大学 感染制御 病院教授

13:20～14:05

教育講演2 座長：伊藤龍子 順天堂大学医療看護学部小児看護学 教授
「医療行為における法的問題と責任」

演者：甲斐克則 早稲田大学大学院法務研究科 教授

14:05～14:50

特別講演 座長：鈴木利保 東海大学医学部外科学系・診療部麻酔科 教授
「感染防止対策から考える PICC 管理」

演者：森澤雄司 自治医科大学医学部感染・免疫学講座 准教授

14:50～15:00

閉会の挨拶 東口高志 藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座 教授